

長野農業農村支援センターだより

令和6年8月号

長野県市町村・JA 合同就農相談会が開催されました！



新規就農セミナーの様子



各市町村ブースの様子

7月6日に、東京都新宿で長野県・長野県農業担い手育成基金主催の「長野県市町村・JA 合同就農相談会」が開催され、長野地域からは6市町村が出展しました。

当日は都内や近隣県から60名近くの方が来場し、来場者はそれぞれ関心の高い市町村ブースで、各担当者の話を聞いていました。また、同時に開催された新規就農セミナーでは、県の担当者から就農までのプロセスや支援制度について説明があったほか、先輩農業者の体験談もあり、大勢の来場者が真剣に耳を傾けていました。

長野地域のブースでは、「特に栽培が盛んな品目は何か？」「農業経験が全くないが、就農を目指すか？」「果樹での就農は難しくはないか？」などの質問があり、農業経験がない場合は、まずは農作業を体験することが大切であり、参加市町村から就農体験会やアグリサポーター制度などを紹介したところ、「ぜひ参加したい」といった声がありました。今回の出会いを契機として、多くの方が長野地域へ足を運んでいただき、就農への第一歩につながることを期待します。

発行 長野農業農村支援センター 技術経営普及課

〒380-0836 長野市大字南長野南県町 686-1

電話 026-234-9536 FAX 026-235-8393

Eメール nagano-aec@pref.nagano.lg.jp

URL <http://www.pref.nagano.lg.jp/nagachi/nosei-aec/index.html>

目 次

○農作物の生育状況

- ・ 7月15日現在 1

○農作物技術情報(6月)

＜ 作 物 ＞	3
＜ 果 樹 ＞	6
＜ 野 菜 ＞	9
＜ 花 き ＞	11
＜ 畜 産 ＞	13
＜ き の こ ＞	15

○地域のできごと

- ・ 長野地域農産物加工組織交流会を開催しました 17
- ・ 農業経営者協会長野支部の農業振興懇談会が開催されました 18

○農業農村振興課から

- ・ 農作物盗難防止啓発チラシ 19
- ・ ツキノワグマの生態について 20
- ・ 環境にやさしい農業認定制度について 21
- ・ 信州の環境にやさしい農業定着・拡大支援事業 申請者募集中! 23

○長野県農業大学校 令和7年度学生募集チラシ 24

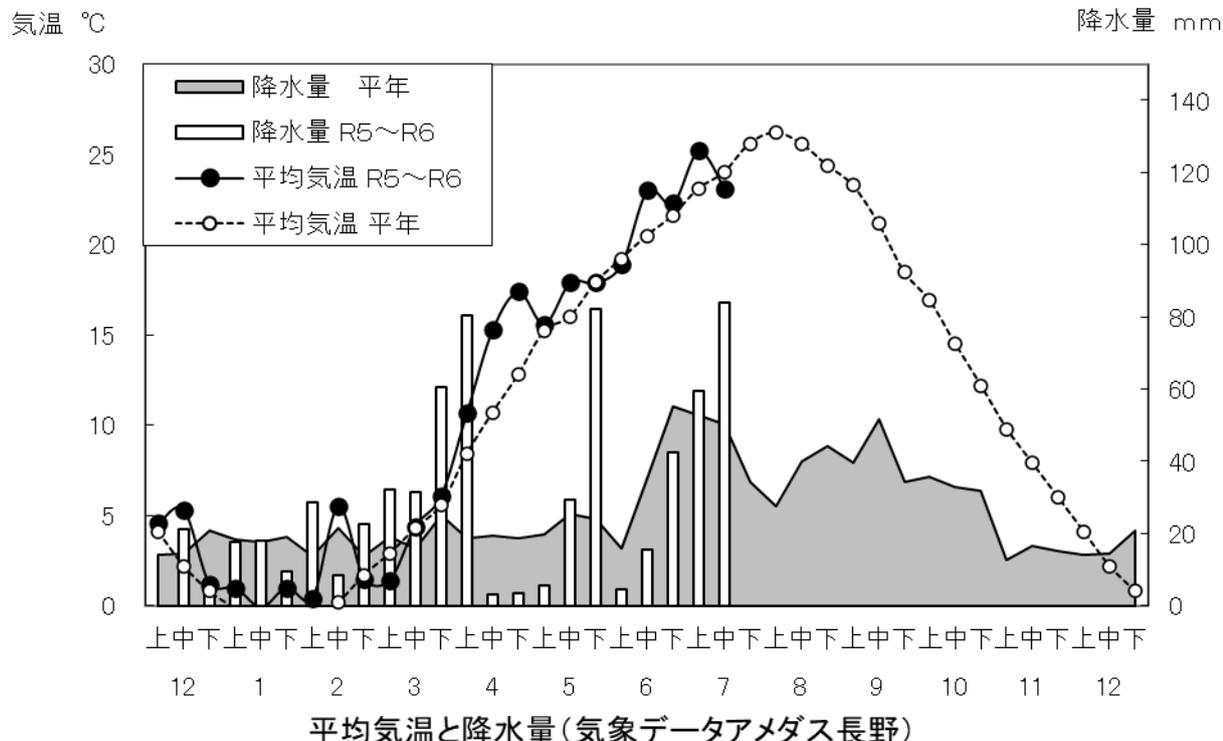
○農作業中の熱中症予防について 26

農作物の生育状況（7月16日現在）について

令和6年7月16日

長野農業農村支援センター

【気象データ】



【作物】

(1) 麦類

大麦「シュンライ」は、平年より4日早い5月26日に収穫が開始され、順調に完了したが、歩留まりが悪く、平年より収量が少なかった。

小麦「ユメセイキ」は、平年より7日早い6月12日から収穫が開始され、種子小麦は全量1等となった。

長野市の小麦「ハナチカラ」及び「しゅんよう」は6月中旬から収穫が開始された。細身のものが多く、春先の高温による茎数過剰と生育後半の窒素不足、3月～4月上旬の多雨による湿害、登熟期の高温による強制登熟、5月中旬及び5月28日の降雨による倒伏が影響していると考えられる。現在のところ検査で赤かび病等の被害粒は確認されていない。

(2) 水稲

6月上旬の低温の影響で分けつが遅れたが、その後的高温で平年並みに回復し、茎数過剰のほ場も散見される。現在は中干しをしているほ場が多いが、平年より数日早く幼穂が形成されている。中干し前は“ガスわき”や藻の発生が平年より多かった。長野市ではイネミズゾウムシによる食害と思われる分けつ不良のほ場が見られた。また、千曲市の苗箱に殺菌剤を使用していない地域で葉いもちが確認されている。

「にじのきらめき」は出芽が1週間程度遅れたものの9割は移植でき、移植後の生育は順調で「コシヒカリ」に追いついている。

(3) 大豆

標準は種の地域の出芽は良好だが、は種後に降雨が無かった地域では一部出芽不良となった。長野市の麦作後のほ場では降雨によりは種が出来ていないほ場が多い。

(4) ソバ

戸隠の「キタワセソバ」は平年並の時期には種が行われ、は種後 1 週間程度で出芽期となった。6 月中旬に開花期を迎え、7 月中旬現在、平年より早く黒化しており、7 月 20 日頃から収穫が始まる見込み。信濃町の奨励品種決定ほ場の「しなの夏そば」は、昨年より 10 日早い 7 月 10 日に成熟期となった。

【果樹】

(1) りんご

生育はやや前進傾向となっている。肥大は良好で、「ふじ」の 7 月 16 日肥大調査では前年比縦 104%、横 108%、平年比縦 109%、横 109%とともに上回っている。腐らん病の発生は依然として多いものの、褐斑病や黒星病の発生は少ない。害虫ではシンクイムシ類、キンモンホソガ、カメムシの発生が多い。

(2) ぶどう

生育は平年より 5 日程度早く、肥大は良好。「シャンマスカット」や「クイーんルージュ®」で一部摘粒が遅れている園地もあるが、袋掛けは 7 割程度終了。夜間の降雨、日中は高温傾向となったことで、日焼けや縮果症の発生が見られ、梅雨入り後は黒とう病の発生が一部園地で見られる。害虫ではミカンキイロアザミウマ、カメムシ、マメコガネの発生が例年よりも多い。

(3) なし

「南水」の 7 月 16 日肥大調査では、前年比縦 131%、横 117%、平年比縦 131%、横 121%と前年及び平年を上回っている。昨年と比較して病害の発生は少なく推移している。

(4) 核果類

生育は平年より 2～3 日早く、毛モモについては 7 月上旬より出荷が開始。結実は良好で、作業が間に合っていない園地も見られた。早生品種ではやや小ぶり傾向の品種もあるが、一般的に肥大は良好となっている。「川中島白桃」の 7 月 16 日肥大調査は前年比縦 114%、横 110%、側 116% 平年比縦 109%、横 106%、側 112%と前年及び平年を上回っている。せん孔細菌病の発生は少なく、カメムシの飛来は多いものの果実被害はほぼ発生していない。

【野菜】

(1) アスパラガス

平坦部及び準高冷地帯の半促成作型（施設）、露地作型はいずれも立茎中で、夏どりが開始。

(2) 果菜類

半促成加温作型のキュウリが収穫後期となっている。無加温の作型は夜温が低く推移していたこともあり、生育は遅れた。半促成加温作型トマトの生育は、ほぼ順調であり、収穫中である。概ね特筆すべき病害虫の発生は見られていない。

ピーマンの収穫が各地で始まっている。初期生育の遅れたところでは樹の伸びが悪い。

【花き】

(1) トルコギキョウ

2 月、3 月定植の季咲作型の、生育は順調で、7 月中旬に切り花ピークとなる見込み。一部で立枯れ病の発生が見られる。

抑制作型は、6 月下旬より順次定植が開始されている。

(2) リンドウ

順調に生育している。一部ほ場で灰色カビ病の発生が見られる。

作物

1 本年のこれまでの生育経過

(1) は種～育苗

病害虫の発生は平年より少なかったものの、高温による焼けが多く、苗箱1,000枚規模の焼けも複数発生しました。また、苗の伸びが旺盛なため、節水したところ乾燥で根上がりする事例も見られました。

(2) 移植後

移植作業は平年並みの速さで進みましたが、一部徒長苗を移植した水田で植え傷みが見られました。また、ガスがわいているほ場や藻が発生しているほ場が多く見られました。

6月上旬の低温の影響により茎数の増加が緩慢でしたが、その後の高温により茎数は概ね平年並に回復しました。草丈は平年よりやや長い傾向となっています。

今後も高温傾向が予報されており、昨年並みに出穂が早まる可能性があります。

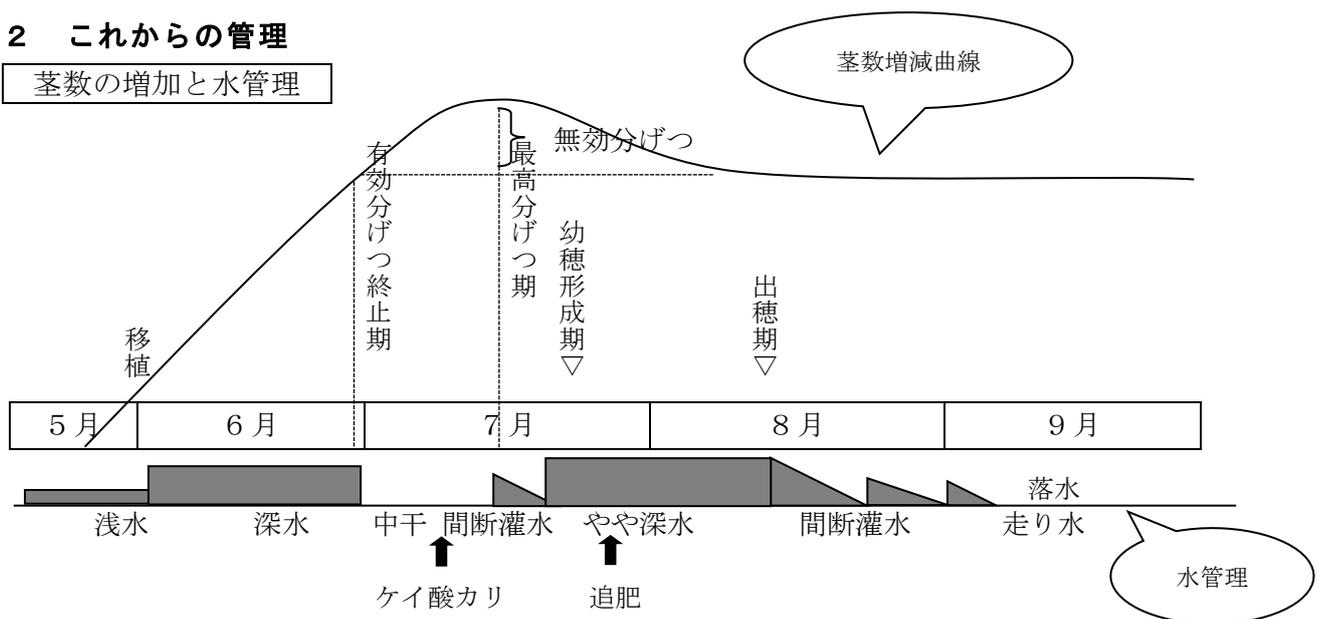
【農業試験場作物部（須坂市）の生育データ】

調査時期	品種名	あきたこまち			コシヒカリ			風さやか			
		年	平年	本年	平年比	平年	本年	平年比	平年	本年	平年比
移植後 20 日 (6/9)	草丈 (cm)		26	28	106%	29	29	99%	27	27	100%
	茎数 (本/m ²)		213	187	88%	233	194	83%	199	229	115%
移植後 30 日 (6/19)	草丈 (cm)		35	37	107%	38	40	105%	30	35	115%
	茎数 (本/m ²)		427	433	101%	474	475	100%	427	543	127%
移植後 40 日 (6/29)	草丈 (cm)		47	52	110%	51	54	107%	40	46	114%
	茎数 (本/m ²)		612	596	97%	644	649	101%	684	728	107%

長野県農業試験場作物部 須坂市 標高348m 移植期:5月20日、苗質:中苗バラ、移植法:1株3本手植え、栽植密度:22.2株/m²(30cm×15cm)、平年対比は最多・最少を除く7中5年の値)

2 これからの管理

茎数の増加と水管理



各地域、幼穂形成期～穂ばらみ期を迎える時期で、幼穂形成期以降は、穂の充実に係る重要な時期です。

👉 昨年問題となった事項～高温障害（胴割粒・白未熟粒）の要因と対策～ 👉

要因	対策
<ul style="list-style-type: none"> ・ 稲の根張りが悪い、栄養状態が悪い、光合成がうまくできない（ガスわき、肥料不足、倒伏、渇水） ・ 穂揃い期の葉色が薄い稲で胴割粒が発生しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ガス抜き、早期の中干しの実施 ・ 出穂後20日間は田面を乾かさない ・ 基肥を見直す、穂肥を実施する、ケイ酸カリを施用する
<ul style="list-style-type: none"> ・ 着粒数が多すぎて、粃の充実が悪くなる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 早期の中干しの実施
<ul style="list-style-type: none"> ・ 出穂後の高温や多照 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水がある地域では、出穂後20日間かけ流し灌漑を行う
<ul style="list-style-type: none"> ・ 早すぎる落水、収穫期～調製までの乾湿の繰り返し 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適期落水、走水、乾燥ムラを避ける
<ul style="list-style-type: none"> ・ 刈遅れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収穫適期は「葉色」ではなく、「粃の色」で判断する

～これからの管理のポイント～

（１）幼穂形成期から出穂期にかけてはやや深水管理

幼穂形成期の水分不足は、もみ数が減少する、穂が短くなるなど、悪影響が心配されます。また、この時期に低温（気温17度以下）に遭うと、花粉の分化・発達がうまく行かず、奇形や不稔となります。深水管理で幼穂を守りましょう。

（２）出穂期から登熟期は間断かん水またはかけ流し

出穂から登熟期間は、稲の生育期間で最も水を必要とします。また、出穂期以降は新しい根が発生しないので、それまでに伸びた根で成熟期を乗り越えなければなりません。今ある根を弱らせず、かつ登熟を促すために、登熟期間は自然に水が引けて田面が出たら、再び入水を繰り返す「間断かん水」に切り替えます。

受精後、玄米の長さは最初の5日間で決まり、その後～20日で幅が、20日以降に厚さが決まり、概ね30日かけて肥大充実します。登熟期間全体にかけて土壌が乾燥すると、登熟歩合の低下、充実不良をまねきます。また登熟後半の乾燥は立毛中での胴割米発生を助長し、品質が損なわれるリスクも負っています。最近の研究では出穂後5～14日まで、玄米の幅が決定される時期に高温に遭遇すると、玄米の品質が低下しやすくなることがわかっています。

高温下で登熟が進むと、胴割米や白未熟米の発生につながり、検査等級が下がる原因となるほか、食味や精米歩留まりも悪化します。水がかげられる地域で、高温登熟障害が心配されるほ場では、出穂期以降20日間かけ流しを行い、地温を下げましょう。

今後の3カ月予報では、気温が平年より高く推移すると予想されており、出穂期の前進や登熟期間中の高温による品質低下（高温登熟障害）の発生が心配されます。

少なくとも出穂後30日までは水管理に気を配り、完全落水はそれ以降とすることが大切です。

（３）いもち病に注意

県病害虫防除所は、7月19日付で「イネいもち病」の注意報を全県に発表しました。常発地帯を中心に、水田の見回りをしてください。

◎落水は早すぎると稔実不良・胴割米の原因になります。

早生種は、出穂後30～35日（あきたこまち等）

中生種は、出穂後30～40日（コシヒカリ等）

落水後収穫まで期間があるのに土がカラカラに乾いてしまった場合は、走り水を行って土壌水分が極端に低下しないようにしましょう。

◎ご自身のは場の出穂期をご存知でしょうか？

田植え日、育苗様式、は場の条件などにより出穂期は異なります。来年度への参考とするためにも、は場ごとの出穂期を知っておきましょう。

※出穂期とは～・・・
出穂とは、「幼穂が頭を出した時」のことを言います。
「出穂期」とは、「は場全体の約半数の茎が出穂した日」のことを言います。

3 大豆

(1) 病虫害防除

大豆の開花期は、は種時期や品種により異なりますが、概ね7月末～8月中旬にかけて開花期となります。開花後は莢ができ、実が肥大していく時期となりマメシクイガなどの莢実害虫防除が重要となります。また、成熟期（莢を振るとカラカラ音がする）の1か月前くらいから高温多湿で経過すると紫斑病の発生も多くなります。

☆ 莢実害虫の防除

マメシクイガ、カメムシ類など莢実害虫の防除するためには、開花終期（8月中下旬）と子実肥大期（9月上中旬）に薬剤散布をします。このとき薬剤が莢によく付着するように散布します。粒剤を使用する場合には、粒剤はガス化して効果を示すため、湿害などにより大豆の葉がよく茂っていないと効果が劣ります。



写真①
ホソハリカメムシ
写真②
フチヒゲカメムシ
写真③
カメムシ類による
吸害粒

☆ 紫斑病の防除

は場での防除適期は、開花終期～莢伸長初期で莢実害虫防除の1回目とあわせて行います。紫斑病は生育中の拡大はほとんどなく、成熟すると急激に拡大します。また、収穫が遅れて畑に長く放置したものほど発病が多くなります。成熟後は速やかに刈り取り、風通しをよくして乾燥しましょう。



紫斑病の被害粒。
種子伝染性病害なので
無病種子を播種する

注意！農薬散布について

- ・農薬の散布時は周辺の作物に飛散しないよう注意してください。
- ・特に飛散しやすい“粉剤”は、早朝などの無風時に散布するなど注意し、風を利用した流し散布は液剤も含め絶対に行わないでください。
- ・農薬散布時に飛散の少ない剤型（液剤・粒剤）や飛散軽減ノズル利用も検討しましょう。
- ・農薬の使用にあたっては、ラベルに記載のある注意事項に従ってください。またみつばちに対して殺虫力が高い薬剤には「みつばち注意マーク」が記載されています。

「みつばち注意マーク」



ミツバチに対して毒性が強いためミツバチ及び巣箱に絶対にかからないよう散布前に養蜂業者等と安全対策を十分協議する。

果 樹

1 りんご

(1) 日焼け防止

近年は夏秋期の高温化にともない日焼け果の発生が多い傾向にあります。最も効果的な対策は、南～西日が当たる側面に寒冷紗を設置することです(写真)。特に日焼け果が発生しやすいわい化園地では、設置を検討しましょう。また、着色管理は日焼けを助長しますので、十分注意してください。



写真 寒冷紗による日焼け果防止

(2) 着色管理

早生種では葉摘み、玉回しの時期となります。葉摘みは1回目を軽く行い、収穫7～14日前に2回目を、樹冠外部では果実温が高くなり日中に実施するなど天候に留意しながら行います。また、玉回しはある程度着色が進んだ頃に行います。これらの着色管理を急激かつ強くと行うと、果実に日焼けが発生しやすくなるので、日中の温度が高い時は樹の上部等の日当たりのよい箇所を、その前後の気温の低い時は、樹の内部や下枝を行います。曇天が続く日に行うと玉回しによる日焼けの発生は少なくなります。

(3) 落果防止剤の散布

品種によって果台と果柄との間に離層形成が始まり、収穫前に落果するものがあります。8月から収穫できる「夏明(なつあかり)」、「つがる」も収穫前に落果しやすいので、収穫前に落果防止剤を散布します。落果防止剤は、品種や剤の種類により使用濃度、散布時期等が違うので、使用に当たってはきちんと確認して下さい。

(4) シンクイムシ類の防除

シンクイムシ類の重要な防除時期です。被害果は土中に埋めるか、園外に持ち出し処理します。スモモヒメシンクイは8月以降すもも園等からりんご園に移動すると考えられていますので、すもも隣接園は注意をして下さい。

スモモヒメシンクイは、卵期間が短いので、被害が予想される園では通常より散布間隔を短くします。特に、発生が心配される園では、8月は10日間隔で殺虫剤を散布してください。

2 ぶどう(無核短梢栽培)

(1) 新梢管理

8月になっても樹勢が強いと、副梢が発生して棚面が暗くなります。棚面が暗いと、成熟不良になったり、薬剤がうまくかからず、べと病等が発生しやすくなります。こまめに園内を見回り、副梢の摘心をします。また、巻ひげは黒とう病の伝染源となるため、柔らかい今のうちに除去してください。



写真 ナガノパープル

(2) かん水

皮ごと食べる「ナガノパープル」等は、果粒軟化期以降に土壌を過剰に乾燥させると、果肉が軟化し、果皮と果肉が分離しやすくなります。そのため少量多数回のかん水を行い、土壌水分の変動を抑えることが重要です。

(3) クビアカスカシバ防除

成虫は8月上旬までぶどうの樹皮に卵を産みつけます。孵化した幼虫は主幹や主枝に食入し、気づくと環状剥皮を受けた様になり、被害部より先端は樹勢が衰えたり、場合によっては枯死することもあります。特に、根頭がん腫病のがん腫部分等が集中的に食入されます。園内の巡回をこまめに行い、オカクズ状の虫糞(写真)を見つけたら直ちに捕殺しましょう。



写真 クビアカスカシバの虫糞

3 もも

「川中島白桃」などの主力品種が収穫期を迎えます。果実の熟度は、品種、樹勢、着果位置等で違うので、大きな果実に注目し、地色の抜けぐあいや手触り等総合的な判断により、熟期を把握します。

果樹試験場における収穫期予測(「白鳳」)では、収穫始めは平年より7日早い予測となっています。ただし、生育期に曇雨天が続くと果肉が先熟し、成熟日数が短くなり、逆に高温乾燥が続くと早生種で短く、中晩生種で長くなる傾向があります。実際の収穫にあたっては、内部品質を良く確認し、適期の収穫を心がけましょう。

(1) 収穫始め予測 (果樹試験場 6月10日時点における 2004年～2023年の平均値)

品種	満開日	満開～収穫開始まで日数	収穫始め(予測日)	平年比(実績)	昨年比(実績)
白鳳	4月17日	99日	7月25日	-7	-3
あかつき	4月16日	100日	7月25日	-7	-1
なつっこ	4月19日	107日	8月4日	-6	-4
川中島白桃	4月17日	121日	8月16日	-9	-6

(2) 硬さ(果実硬度)

ア 硬度計で8ポンドが目安

イ 手触りの感覚は、適熟期になると適度な弾力を感じるようになる。肉質が半溶質又は不溶質の品種は軟化の進み方がゆるやかなので、手の感覚では判定が難しい。

(3) 色(果皮の光沢)

ア 「白鳳」「川中島白桃」等：こうあ部周辺が緑白色になった頃

イ 「あかつき」「なつっこ」：地色の抜けが早いですが、地色が白色に変わった頃

(4) その他

ア 果実の鮮度保持のため、収穫は早朝など果実温の低い時間帯に行ってください。

イ 収穫果は通風の良い木陰などに置くようにして下さい。

ウ 着色や硬さなどをよく観察し適期収穫に努めてください。

4 なし

「幸水」の収穫期を迎えます。適期収穫に心掛け、過熟果とならないよう注意します。

(1) 収穫開始日数 例年だと満開後120日頃から

(2) 果皮色

ア 食味を重視した収穫適期：カラーチャート値「2.5」(全農作成カラーチャート)

イ 高温期の収穫であり、流通形態により日持ち性を考慮した場合：「2.3」

【カラーチャートの使用方法】

☆比色する位置は果実の赤道面のやや下方の陰光面とする。

☆明るい日陰で比色する。

☆比色する時は目からやや遠ざけてみると良い。

(3) 糖度 12度以上でデンプン臭がないこと

(4) その他

ア えき果芽の果実より、短果枝の果実の成熟が早い。

イ 果そう葉の少ない果実、樹勢の弱い樹、高温の年には熟度の進みが早いので注意しましょう。

野菜

1 露地野菜類の管理（梅雨あけ後～高温・乾燥期）（葉野菜、果菜、根菜類共通）

梅雨明け後も、集中豪雨に留意し、表面排水や縦穴排水などの徹底により、ほ場内に滞水しないようにします。集中豪雨や高温、乾燥により、近年は梅雨明け後の生理障害の発生や生育不良が生じやすいので順調な生育及び草勢維持を目指し、生産安定を図りましょう。急激な土壌水分の変化とならないよう、以下の点に留意しましょう。

（１） かん水管理

土質にもよりますが、晴天、高温が続くと急激に土壌水分が失われます。作物の様子や土壌の乾きを観察し、早めかつ一度に多量かん水ではなく、少量で多回数かん水を心掛け、午前中を中心に行います。高温が続き、夜温が下がり難い場合、夕方に畝間や通路に軽くかん水し園内の気温を下げる「打ち水」も有効です。

（２） 雑草は除草するか、短く刈り込みましょう

作物より雑草の方が土壌の水分を吸収する力は勝ります。特にイネ科の雑草は根が深くまで張り、水を吸う力が強いので要注意です。除草を兼ねて通路などの表面を2～4cm程度軽く起こすと土壌の毛細管現象が切れ、土壌の乾燥を軽減することができます。

（３） 土壌の乾燥、マルチ内の地温上昇を抑制しましょう。

黒マルチを用いている場合は地温を下げるため、陽の当たる南側などをワラなどで覆います。畝間の通路部分に敷きわらを行い、土壌の乾燥を防ぎましょう。

2 果菜類の管理（高温期）

高温時の水分不足は、草勢の低下、尻腐れ果・日焼け果など生理障害の発生を助長するので、適宜かん水を行います。

施設栽培では、天窗や側面はできるだけ解放し、循環扇などによる換気の徹底、寒冷紗による遮光（遮光率30～40%程度）等を行います。また、マルチや通路部へ敷きワラを行います。

カルシウム剤の処理は株元に十分かかるようにします。

<品目別>

- （１） トマトでは、土壌水分の急激な変動は裂果の要因の一つと考えられており、変動をなるべく小さくするため、少量多回数かん水を心掛けましょう。一方、気温が低下した場合、かん水回数減や実施時刻を遅らせることで過湿による障害を防ぎます。
- （２） ジュース用トマトでは、果実が株上に露出し、直射日光で果面が高温となることで、日焼け果が発生しやすくなります。果実上の葉の繁茂を維持し、ワラ等をかけて露出した果実の日除けを行います。
- （３） カラーピーマンやピーマンでは、高温による着果不良や尻腐れ果、日焼け果の発生が見られる場合があります。少量多回数でかん水するとともに、遮光して果実への直射日光をできるだけ防ぎます。側枝やふところ枝の整理は遅らせ、果実上位の葉をできるだけ残して日除けを行います。



写真1 日焼け果（カラーピーマン）

- (4) きゅうりでは、土壌水分の急激な変動は果形の乱れ(曲がり等)に現れます。草勢低下の要因として、土壌水分や肥料不足、温度(高夜温、低温)、日射量不足、着果過多などが考えられます。適切な養水分管理、草勢に応じた摘葉、摘果を心がけましょう。

3 アスパラガスの管理

局所的な激しい降雨があった場合、泥はねによる茎枯病、斑点病の発生が懸念されます。降雨前の予防散布を徹底しましょう。

側枝が繁茂しすぎると光合成が低下するほか、薬剤もかかりにくくなります。株元から高さ 50 cm 程度までは下枝をかき、通路側に伸びた側枝は写真 1 の様に通路の向こう側が見える程度に切り詰めます。

追肥は、茎葉の状態を見ながら 1 回に窒素成分量で 2~3 kg/10 a 程度とします。遅い時期の追肥は茎葉の過繁茂を招き、その後の黄化を遅らせます。遅くとも 8 月中旬までに済ませます。

かん水量は 1 週間に 30 mm 程度を目安とし、晴天が続けばやや多めにします。かん水方法は、「うね表面かん水」と「うね間かん水」が一般的で、直接茎に水がかからない方法が最適です。24 時間以上滞水する場合には、根に障害が起こる可能性があります。

4 野沢菜のは種

- (1) は種時期(目安) : 生育適温は 18~20℃前後で、30℃を超える高温や乾燥条件では発芽、生育とも悪くなります。標高 1000m 以上では 8 月中旬まで、500~1000m では 8 月中旬~下旬、500m 以下では 9 月上旬~中旬が播種時期の目安となります。極端な早播きはアブラムシに起因するウイルス病が多くなりますので注意しましょう。
- (2) 根こぶ病対策 : 石灰資材の施用等により土壌 pH は 6.5 前後に矯正します。は種前に根こぶ病防除薬剤を全面散布し、土壌と十分混和します。根こぶ病菌は水の流れによって拡散しますので、排水不良の畑では畝立て播種します。
- (3) 施肥量 : 1 a 当たりの施肥量は堆肥 200 kg のほか、窒素成分 2.5~3.0 kg、りん酸成分 1.5~2.5 kg、カリ成分 2.5 kg を目安に施肥します。
この内、窒素とカリ成分の 50% をは種後 15 日と 30 日(間引きした後ぐらい)の 2 回に分けて追肥します。肥料が葉柄の間に入ると肥料やけを起こすので、入らないように丁寧に行うか追肥後かん水し洗い落とします。
- (4) は種 : うね立て及び整地を丁寧に行ってください。は種量は a 当たり 30~40 ml 位です。床幅 120 cm、条間 15 cm 程度の 6 条播きが基本です。は種後は、かん水を行い、乾燥しないようにし、一斉に発芽するようにしましょう。
- (5) 間引き : 発芽揃い~本葉 2 枚くらいの頃と本葉 3~4 枚くらいの頃に間引きします。株間 12~15 cm の 1 本立ちに仕上げます。



花き

1 高温対策

例年梅雨明け後は、一気に気温が上昇し最高気温が30℃以上を上回る日が続きます。このため、施設花きでは生育に様々な影響が出ています。高温により引き起こされる主な障害について(表1)について示しました。高温障害の発生により出荷計画全体に大きな狂いを生じさせ、経営に大きな影響を及ぼします。この他高温性の病害や害虫被害の多発も憂慮すべきです。

主な高温抑制技術について、(表2)に掲載しましたので参考に活用下さい。

表1 高温による生育の及ぼす影響

品目	生育障害
キク	早期開花、高温抑制による開花の遅れ 奇形花の発生(蕾変形)
トルコギキョウ	開花が早まる。草丈が短い、茎が細く軟らかい、側枝の減少
りんどう	早期開花、高温抑制による開花の遅れ 奇形花の発生(ハチマキ)
ストック	開花の遅れ、奇形花
カーネーション	早期開花、茎の軟弱化、スプレー系品種の蕾数不足等

表2 高温抑制技術

大分類	中分類	小分類
換気	窓換気(自然換気)	換気促進 開口面積増大(屋根開放型)
	換気扇換気(強制換気)	
遮光	外部遮光	近赤外塗布剤 フィルム 遮光資材
	内部遮光	
	塗布剤 近赤外線カット資材	
冷房	蒸発冷却法	細霧冷房 パット&ファン冷房
	ヒートポンプ	外気冷熱源



図1左:外部遮光、右:対照区(無遮光)



図2オーブハウスの様子



図3内部遮光

2 トルコギキョウ

(1) 短日処理の終了

短日処理は8月上旬までに終了します。これ以降の短日処理は、蕾ができない「ブラインド」や蕾の生育が止まる「ブラスチング」により、花数の減少につながります。また、茎が細くなるなどの品質低下や規格を満たさない切残しが多くなってしまう恐れがあります。

なお、8月に定植し、10月以降の出荷をめざす場合は短日処理を行わない。
短日処理を行わない場合は、草丈が伸長しやすい、晩生などの品種を選ぶ必要があります。

(2) 高温対策

この時期は最も気温が高い時期です。予定どおりの時期に品質のよい切花を迎えるためには、温度管理も重要です。日中の最高気温は30℃以下を目標にし、ハウスの側面や裏面を開けて換気を十分に行います。また、出入口は開放し、代わりに害虫の侵入を防ぐために防虫ネットを張ります。さらに専用の扇風機（循環扇など）を利用して空気を動かすことや、わらマルチにより地温上昇を防ぐことも高温対策には有効です。

8月盆までを目安に遮光率30～40%程度の資材をハウス外側に張ることで、気温と地温の低下を図り、葉焼けを防ぎます。一方、光が不足すると軟弱化や節の間延び、分枝の数や花と蕾の数が減るので、朝、夕、曇、雨天日には遮光資材を開けるのが理想です。ハウス内に遮光ネットの内張を張ってもよいでしょう。

(3) 水の管理

定植から2週間程度はしっかりかん水します。
この間、水を切らさないことが大事なポイントです。
かん水ムラがある場合はかん水チューブが詰まっていないか確認し、手かん水で補給します。



図4 かん水ムラによる生育差

(4) 2度切り栽培

7月のうちに切り花が終了した力のある株から芽を伸ばして、再度収穫することができます。最初の花（1番花）がボリュームのある品質の良いものであれば、健全な葉4～6枚、節の数で2～3節以上残して切花をします。切ったあとの茎の長さは5cm程度あることが望ましく、地際ぎりぎりだと株が枯れてしまう場合があります。

伸びてきた芽が10cm位に生長した頃、太さのある芽2本程度を残し、あとは取り除きます。

さらに、液肥など速効性の肥料を施用しかん水をします。あわせて施設内の気温上昇を防ぐため、切花後から遮光率30%程度の遮光ネットで覆いますが、覆う期間は8月盆までが目安です。かん水と追肥は適宜行います。



図5 2度切では芽を2本に

畜産

1 共通：暑熱評価指標 THI（温湿度指数）

家畜は暑さに弱く、乳牛では 25℃、その他の畜種でも 30℃を超えると暑熱ストレスにより乳量や増体、繁殖に影響がみられるようになります。また、同じ温度でも湿度が高いほど暑熱ストレスは増加し、特に反芻動物では湿度の影響が大きいと言われています。

暑熱評価指標の一つである THI は不快指数とも呼ばれ温度と相対湿度から算出されます。乳牛では 68～72 を超えると乳量の減少が見られ、豚や鶏でも 72 を超えると暑熱ストレスがかかります。牛については THI と暑熱対策が必要か一目でわかる THI メーターも販売されているため、まだ導入されていない方は導入を検討してみてください。

2 酪農：暑熱対策（酪農ヘルパー専門技術員必携より）

乳牛は特に暑さに弱いので、適切な牛舎管理が必要です。管理のポイントは、①直射日光に当たらない、②熱い空気を溜めない、③できるだけ牛に風を当てる、の3点です。

- (1) 日射の抑制：温度が高くなる午後、西日が入る窓にヨシズなどを置いて遮光します
- (2) 通風の促進：できるだけ開口部を広く、カーテンを巻き上げ、引き戸は外し開放します。換気用の大型ファンを使って熱い空気を排除します。風が通るように風下に障害物を置かないようにします
- (3) 牛体送風：効果的な送風施設を設置して送風します（できれば冷風がいいです）。細霧装置は湿度が低いときは効果的です（湿度が高い場合は逆効果です）。牛体の前部に風を当てます。

3 繁殖和牛 発情発見のポイントは以下4つです。

- (1) 発情予定牛の把握 発情や授精の記録に基づいて、その日の発情予定牛を把握しておきましょう。頭数が比較的少ない場合は、繁殖カレンダーが利用しやすいです。PGFは3日後に発情が来ることが多いですが、牛により1日後の場合も、遅いもので6日後の場合もあります。
- (2) 発情時の特徴的な変化 個体ごとに、発情時の行動の変化や生殖器の変化の特徴を、記録しておきましょう。発情の真の徴候は、スタンディングです。他の発情徴候は、発情の開始前から現れ始め、発情が終わってからもしばらく続くことが多いです。いくつかの徴候を合わせて記録し判断します。
- (3) 頻繁な観察 乳牛の最近の持続時間は6.6時間と短くなっています。1日4回、6時間おきにチェックします。朝5時、午前11時、夕方5時、午後11時です。
- (4) 発情発見補助具の活用 ヒートマウントディテクター、テイルペント、チンボール、牛歩、牛温恵、などがあります。
- (5) 発情の同期化 PGFは発情後5～16日の黄体期に投与しないと効果が出ません。黄体ホルモン剤も投与して平均3日後に発情が発現します。

4 肥育牛 肥育技術の軽重 (俵牛づくりより)

素牛を入れてからの半年間の飼いが、牛の姿形を決めます。カブリが大きくなるのは生後 20 か月齢です。バラは 20 か月齢以降に大きくなります。枝肉重量があり、ロース芯断面積が大きく、バラの厚い牛を作るためには、牛の能力、サシを入れる能力を十分に引き出す必要があります。粗飼料のワラは乾燥のしかたで、カロテンの含有量が異なります。

ビタミン A コントロールを失敗しないためには、ポイントを決めて血液検査をします。寝ながら反芻している快適な環境づくりでは第 1 胃の発酵状態も良いでしょう。ビタミンミネラルきっかけで、飼料の食べ具合が順調になり成績が上がることもあります。

枝葉の技術ではなく、牛が順調に食い込める技術が良い技術です。

成績を上げる 3 つのポイント

(1) 飼料摂取量を安定的に高く維持する。食い止まりが出たらすぐに対処する

○肉牛が 10kg 食べるようになったら、10kg をできるだけ長く維持させます。

牛の能力、腹や口の大きさ、食欲により 9kg なのか、11kg なのか決めます

○食い止まりや波があるとルーメン発酵が乱れ、肉質に影響します

安定的に配合飼料を食べれば BMS-No は増えます

○給与した餌をその日の内に食べさせるのが、肥育の基本です。

飼槽に残っている飼料を集めてゼオライトをひとつまみ振り掛ける

(2) ビタミン A のコントロールを適切に行う

血中ビタミンを揃えてから、生後 12 か月齢から 22 か月齢までの間にビタミン A を欠乏させます

(3) ストレスの少ない飼養管理を行う

牛はストレスに弱い動物です、雨の日、水、西日、牛床の湿りなどで餌食いが落ちます

5 牧草管理 二番草の収穫について

一番草の刈り取りから 55 日後を目安に、二番草の刈り取りが始まると思います。刈り取り後降雨に遭うと、牧草中の可溶性炭水化物が溶け出し、乳酸発酵が抑制されるとともに土の混入で酪酸菌による不良発酵が生ずる恐れがあります。そのため、天気予報をこまめに確認し晴天が 3 日間続く日を選んで作業するように作業計画を立てましょう。

きのこ

需要期に向けて、えのきたけでは詰め込み作業が本格化する時期です。外気温が高い時期の培地調製～培養にかけての栽培管理について、再点検をしましょう。

1 培地調製

外気温が高いこの時期は、培地調製中の乳酸発酵により pH が低下して、菌まわりが遅れることがあります。乳酸菌は 30℃ を超える高温や栄養源・水分が存在する条件では、増殖が促進されるため、この時期の培地調製作業は、詰め込み当日の「涼しい時間帯（朝など）」に行いましょう。

また、加水後は攪拌～詰め込みまでの作業をできるだけ短時間でやり、乳酸発酵の影響を最小限に抑えることが重要です。コーンコブなど水分が浸透しにくい培地材料を使用する場合は、加水後の攪拌時間が短いと水分が中心部まで浸透せず、殺菌不良が生じることがあります。こうしたことに注意し、加水～詰め込みが完了するまでを概ね 3 時間以内に終えるようにしましょう。さらに、詰め込み後の培地残渣を翌日の培地材料として再利用することは避け、廃棄します。

えのきだけの殺菌後の培地 pH の目標値は 5.8～6.4 です。pH が 5.5 を下回ると菌回りが遅れ、菌回りが完了しないうちに菌かきを行うと芽出し不良となります。pH 整材を添加することがありますが、その場合は安全性の確認されている資材を使用します。

2 培養管理

外気温の高い時期は、クーラーが頻繁に稼動するため、培養室内及び培養ビン内の種菌や菌床面が乾燥し、芽出しが悪くなりがちです。適温・適湿を保つよう注意しましょう。

特に、風当たりのよい場所（例えば、棒積みされたコンテナの上段）では、クーラーの風向きに注意するとともに、風除けの設置、キャップの古く収縮したウレタンの交換など、菌床表面の乾燥の防止を図りましょう。

また、需要期に向けて釜詰めを増やしたことで、培養室の収容ビン数が過剰になり、空気循環の悪化による酸素不足や、ビン周辺温度の上昇による発芽不良も生じる場合があります。培養室の収容ビン数を適正範囲に抑えるとともに、コンテナ間の間隔は最低 10～15cm、パレット間や壁際

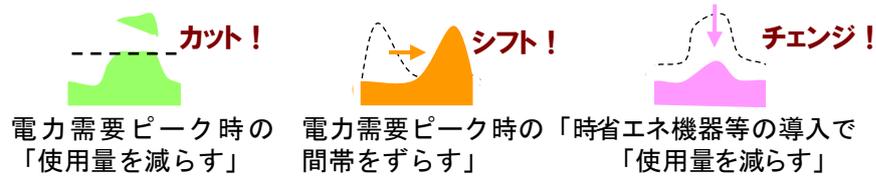
の間隔は 20～30 cm を確保して、空気が循環しやすい培養環境をつくりましょう。また、室内の空気の流れがよくない場合は、補助ファンや移動式ファン等も使用します。

特に、近年は高収量培地の使用が進んでおり、従来以上に熱の発生が多いことから、定期的に温度計等により培地温度を確認するようにしましょう。

3 節電・省エネ

燃油、資材高騰が続きます。以下の対策メニューを参考に本年も節電・省エネ・コスト低減を心がけましょう。

● 節電の基本は、



● 農業現場においてもメニューに沿って節電・省エネに取り組みましょう。

節電対策メニュー			節電効果(注)	確認
施設 ・ 作業棟	カット	「よしず」や寒冷紗などで直射日光を遮る。	左のメニュー 全てを実施し た場合 ～10%	<input type="checkbox"/>
		屋根裏に断熱材を張る。		<input type="checkbox"/>
		可能ならば屋根に断熱塗料を塗る、地下水を利用して散水システムなどを施す。		<input type="checkbox"/>
		レースのカーテンやブラインドなどにより、窓部からの直射日光をカットする。		<input type="checkbox"/>
	出入口にカーテンなどを設置（室温確保）する。	<input type="checkbox"/>		
	空調	エアコンの設定温度は28℃とし、扇風機を併用して空調効果を高める。	左のメニュー 全てを実施し た場合 ～8%	<input type="checkbox"/>
		空調の室外機周囲の風通しを良くし、冷却効率を上げる。		<input type="checkbox"/>
	照明	作業灯や廊下の照明を間引き（～1/2程度）、必要時以外は消灯を徹底する。	～50%	<input type="checkbox"/>
照明器具を蛍光灯からLED灯へ交換する。		60%	<input type="checkbox"/>	
培養室 生育室	カット	〔培養〕積み上げたコンテナやパレット、壁際との間を20～30cmとする（対流や風通しをよくする）。	左のメニュー 全てを実施し た場合 ～10%	<input type="checkbox"/>
		〔生育〕棚に差すコンテナは、棚のサイドや壁際との間を10～20cmとする（対流や風通しをよくする）。		<input type="checkbox"/>
		空調機のフィルターに付着したゴミやホコリを定期的に吸引除去、洗浄する。		～10%
	冷凍機	屋外にある冷凍機周辺の整理整頓で風通しを良くし、日よけ等の遮光や打ち水を施す。	左のメニュー 全てを実施し た場合 ～10%	<input type="checkbox"/>
		冷凍機のラジエーターに付着したゴミやホコリを定期的に洗浄・除去する。		<input type="checkbox"/>
		熱交換器のエレメントに付着したゴミやホコリを定期的に除去する。		～10%
チェンジ	照明 (ぶなしめじ)照明器具を蛍光灯からLED灯へ交換する。	60%	<input type="checkbox"/>	

※確認欄は自己点検の際などにご利用ください。

(注)メニュー別の削減効果(%)の目安です。チェンジを除く基本的なメニューに取り組んだ場合の節電効果の総量は、ぶなしめじ～8%、えのきたけ～3%程度となります。

地域のできごと

R6.8

長野地域農産物加工組織交流会を開催しました

6月19日、「長野地域農産物加工組織交流会」を長野合庁にて開催しました。この交流会は昨年度に支援センターが加工組織を対象に行った聞き取り調査の中で「HACCPについて勉強したい」、「他の組織の情報を知りたい」等の声を受けてのものです。

当日は、長野地域の7組織11名の方が参加し、長野保健福祉事務所からHACCPの基本事項について説明した後、それぞれの加工組織の事業内容や課題について情報交換を行いました。情報交換では「組織の後継者がいない」、「会員の確保が難しい」などが課題として挙げられ、組織間に共通した悩みであることが分かりました。

参加者からは「HACCPについて勉強になった」、「また集まって色々なところの話は聞きたい」等の感想が出ました。

(技術経営係 岩崎)



HACCP についての研修



情報交換の様子

地域のできごと

R6.8

農業経営者協会長野支部の農業振興懇談会が開催されました

7月4日に、県農業経営者協会長野支部の農業振興懇談会が長野市内で開催されました。

今年度のテーマは「農業労働力の確保について」で、懇談会に先立って支援センターから、農作業のお手伝いさんと園主をマッチングする1日農業バイトアプリ「daywork」の紹介と、その利用者向けに、県が果樹の主な作業ポイント等をわかりやすくまとめた動画を作成し公開していること等について話題提供がありました。懇談会では会員皆さんから、前段の話題提供を踏まえて、自身の経営での労働力確保の現状や対策として農福連携や外国人労働力の利用、葉摘みや玉回しのいらぬ品種へ転換するなどの取組みが出されたほか、「daywork」アプリの利用についての質問等も出されました。

また、懇談会終了後に引き続き開催された情報交換会では、出席したセンター職員も交えて活発な意見や情報の交換が行われ、たいへん有意義な会となりました。

(地域第一係 松木)



熱心に意見に耳を傾ける農業経営者協会の皆さん

STOP!

農作物盗難



～大切に育てた農作物を盗難から守りましょう～



ポイント1 農作物の保管・管理

- 定期的な見回りを行いましょう。
異変があったら、すぐに警察に通報しましょう。
- 不審者の特徴、不審車両の色・ナンバーをチェックしましょう。
- 腕章や農作業車両にステッカー等をはるなど、農作業従事者である目印をつけましょう。



ポイント2 園地への侵入防止対策

- 園地にネットや柵を設置しましょう。
- 「盗難注意」「立入禁止」等の看板やのぼり旗を設置しましょう。
- 防犯カメラやセンサーライトを設置しましょう。

長野県農政部・長野県警察

※本製品は、皆様から寄せられた「ふるさと信州寄付金」を活用しています

ツキノワグマ



●ツキノワグマの生態

『生息域』… 本州、四国に生息。九州では絶滅しました。

『行動圏』… 単独で行動します。「なわばり」がないので、複数のクマの行動する範囲が餌場などで重なり合います。30～110km²の範囲で移動します。

『からだ』… 体重は40～130kg。体が柔らかく、30cm四方の穴をくぐりぬけます。
嗅覚・聴覚がすどく人間が気付く前にクマの方で察知します。

『食べ物』… 雑食性だが植物質が主。冬眠前は山林内のドングリ等を食べ脂肪をつけます。
のため、キャンプ場のゴミや農地の廃果等にも居付きやすく、人里周辺に居座りつづける原因になります。

『生活』… 昼夜を問わず、活動と休息を繰り返します。本来、とても臆病なので、人里近くでは早朝と夜間に出没します。

クマの被害を最小限にする鉄則3

鉄則1 「クマを誘うような物は片付ける」

取残しの果樹の実や生ゴミ等は放置せず、指定の場所に持ち込んだり、深く埋めるなど処理しましょう。山に入った時も、お弁当やお菓子等のゴミを捨てると、人間の食べ物の味を覚えてしまうので、かならず持ち帰ること！



▲被害作物も片付けましょう！

鉄則2 「音をたてながら、複数で行動」

とても臆病ですが、ばったり出会ったりした場合には、事故が発生することがあります。山に入るときや山際を早朝や夜間出歩くときは、ラジオや鈴を鳴らしながら、複数で行動するなど、「人間の存在をアピール」しましょう。



電池でも車のバッテリーでもOK！

鉄則3 「農地に入らせない近づけない対策を」

今は性能のよい、効果のある電気柵が多数あります。地域で電気柵を購入し収穫まぎわだけでも、設置するなど、皆でクマの被害を防ぎましょう。

人間に依存させないことが大切です。

電気柵 →

- ① 手前に複線を張ると、地面を掘ってくぐる事が出来ません。
- ② クマが鼻先で探った瞬間、敏感な鼻に電気がビリッと伝わるのでとても効果的です。
- ③ 設置が容易です。



副線(奥行き)で！

あなたも環境にやさしい農業に取り組んでみませんか

環境にやさしい農業認定制度

長野県



信州の環境にやさしい農産物認証

化学肥料及び化学合成農薬について、「地域慣行施肥量」及び「地区化学農薬使用回数」の50%以上を削減した方法で生産された農産物

環境負荷低減事業活動実施計画の認定(みどり認定)(※エコファーマーに代わる認定制度)

土づくりと一体的に行う、化学肥料および化学合成農薬低減の取組み ほか

有機JAS



- 1 化学的に合成された肥料及び農薬を使用しない
- 2 遺伝子組換え技術を利用しない
- 3 農業生産に由来する環境への負荷をできる限り低減する
農業生産の方法を用いて行われる農業



環境負荷低減事業活動実施計画の認定(みどり認定)を受け、エコファーマーマークを使って農産物を販売しませんか



■エコファーマーマークは実施計画に基づいて生産した農産物の包装容器、チラシや名刺、ホームページ等に表示することができます。

従来のエコファーマーと同じ取組み(土づくりと一体的に行う化学肥料および化学合成農薬低減)で認定を受け、エコファーマーマーク使用届を提出いただきます

新法の施行に伴い、エコファーマーの認定制度が代わりました

■ **エコファーマー根拠法令**
 持続性の高い農業生産方式の導入に関する法律
 (持続農業法) <廃止>



■ **環境負荷低減事業活動認定の根拠法令**
 環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律
 (みどりの食料システム法) <新法>

— 環境負荷低減事業活動認定について、エコファーマーとの違い —

	エコファーマー (持続農業法)	環境負荷低減事業活動認定 (みどりの食料システム法)
<p>認定を受けるために必要な取組内容</p> <p>-認定される取組について、地球温暖化防止に係る取組等が増えます-</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・土づくりと一体的に行う、化学肥料および化学合成農薬低減の取組 	<p>※以下のいずれかの取組で認定可能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土づくりと一体的に行う、化学肥料および化学合成農薬低減の取組 ・温室効果ガス削減の取組 ・土壌を使用しない栽培における化学肥料および化学合成農薬低減の取組 ・畜産由来の窒素、リンその他の環境負荷原因物質の量の減少の取組 ・土壌への炭素貯留の取組 ・生分解性プラスチックの使用またはプラスチックの排出抑制の取組 ・生物多様性保全の取組
<p>融資や税制の特例措置</p> <p>-特例内容が拡充されます-</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業改良資金の償還期間の延長 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業改良資金の償還期間の延長 ・環境にやさしい効果のある対象設備(機械)の導入の際、特別償却が可能※ <p style="text-align: right;"><small>※令和8年3月末まで</small></p>
<p>認定期間満了時の継続・再認定の方法</p> <p>-継続取組も認定可能です-</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の取組に加え、新たな技術の導入で認定可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の取組継続による認定が可能(新たな技術の導入が必須ではなくなりました)

— 申請手続き —



- ★申請にあたり準備していただく書類
- ・認定申請書
(住所や氏名等、申請される方の基本情報の書類)【様式第3号】
 - ・計画書
(環境負荷低減活動実施計画,どんな活動をするのかの書類)【様式第1号、2号】
 - ・添付書類
(土づくりと一体的に行う、化学肥料および化学合成農薬低減の取組内容で申請を行う際は、土壌診断結果が必要です)

※税制特例措置希望の方

対象機械を以下より確認いただき、計画書に型式を記入ください。



https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyoseisaku/midori/midorihou_kibann.html

環境負荷低減事業活動認定
 長野県ホームページ



信州の環境にやさしい農業定着・拡大 支援事業 申請者募集中！

(信州の環境にやさしい農産物認証取得チャレンジ・ステップアップ支援事業(推進事業))

長野県では、化学肥料や化学合成農薬を低減した環境にやさしい農業の拡大や発展、
「信州の環境にやさしい農産物認証」の取得に向けた取組の必要経費を支援しています。
環境のやさしい農業の波及に向け地域で活動されている皆さま、ぜひご活用ください！

【申請受付期間】令和6年12月20日(金)まで

※本年度予算の上限に達し次第、受付終了

【申請対象者】

「信州の環境にやさしい農産物」について
“R6年産認証を受けている” または
“R7年産認証の申請を予定している” 方

支援金額

定額5万円

(※11名以上の取
組で8万円)

「信州の環境にやさしい農産物認証」って？

地域の一般的な栽培方法と比べて、化学肥料と化学合成農薬の使用量を原則50%※
以上減らしてつくられた農産物を「信州の環境にやさしい農産物」として長野県知
事が認証する制度です。

認証された農産物には、認証票(シンボルマーク)の使用が許可されます。

※果樹の一部品目においては、30%の特例があります。



どんな取組みに使えるの？

- ・環境にやさしい農業の栽培技術講習会
- ・環境にやさしい農業に先進的に取り組む農業者や地域の視察
- ・環境にやさしい農産物を取り扱う店舗や直売所等の視察
- ・環境にやさしい農産物のPRや販路拡大に向けた商談会やマルシェ等への参加 など
「こんなことにも使えますか？」という取組みがありましたら、随時御相談ください。



←応募方法や信州の環境にやさしい農産物認証の詳細は、長野県HPをCheck!

※アクセス解析のためにCookieを使用しています。

アクセス解析は匿名で収集されており、個人を特定するものではありません。この機能はCookieを無効にすることで収集を拒否することができますので、お使いのデバイスのブラウザの設定をご確認ください。

◎申請にあたっては、お近くの農業農村支援センターまでご相談ください！

＜お問い合わせ先＞

○佐久農業農村支援センター	TEL : 0267-63-3147	○上田農業農村支援センター	TEL : 0268-25-7126
○諏訪農業農村支援センター	TEL : 0266-57-2913	○上伊那農業農村支援センター	TEL : 0265-76-6813
○南信州農業農村支援センター	TEL : 0265-53-0413	○木曾農業農村支援センター	TEL : 0264-25-2220
○松本農業農村支援センター	TEL : 0263-40-1916	○北アルプス農業農村支援センター	TEL : 0261-23-6511
○長野農業農村支援センター	TEL : 026-234-9514	○北信農業農村支援センター	TEL : 0269-23-0209



NAGANO PREFECTURE FARMERS ACADEMY

長野県農業大学校 令和7年度学生募集中

光輝く農業を探しだそう。

 農大サンデーオープンキャンパス実施中

毎月第2・第4日曜日に農大をご案内します!

>要事前予約 >QRから「農大ウェブサイト」へGO



www.nodai-nagano.ac.jp

1 農業に関する理論と実技を
学ぶ実践型教育を行っています

2 農業技術の高度化や経営の
専門化に対応できる人材を育成しています

3 創立100年を超える県立の農業大学校です
(総合農学科は専修学校専門士の称号が付与されます)



各学科の特色

総合農学科<2年制>

■ 実践経営者コース

企業的な農業経営感覚を有する農業のトップランナーを養成する少人数コース

■ 農業経営コース(全寮制)

作物・野菜・花き・果樹の専攻制により専門的かつ幅広い知識・技術を習得するコース

実科<1年制>+ 研究科<1年制>

県内4カ所の農業関係試験場内で実科生として1年、引き続き研究科生として1年の計2年間、農業の担い手として必要な知識・技術を実践的に習得できる学科

資格取得可能な免許

農業簿記検定 / 大型特殊免許(農耕車) / 車両系建設機械運転技能資格 / フォークリフト運転技能資格 / けん引免許(農耕車) / 毒物劇物取扱者 / 小型移動式クレーン運転技能資格 / 玉掛け技能資格 など

学生寮自啓寮

全室個室 / 平成27年4月新築

100部屋はすべて個室、空調、冷暖房、インターネット環境完備。食堂で3食提供(休日等除く)。共同スペースには男女それぞれにミニキッチン、浴室、ランドリーを完備。



個室



食堂



浴室

入学試験の日程

(1) 総合農学科(実践経営者コース)

区分	願書受付期間	試験日
一般	第1回 令和6年10月25日(金)～令和6年11月8日(金)	令和6年11月25日(月)
	第2回 令和6年12月4日(水)～令和6年12月18日(水)	令和7年1月9日(木)
	第3回 令和7年1月20日(月)～令和7年2月3日(月)	令和7年2月19日(水)

(2) 総合農学科(農業経営コース)

区分	願書受付期間	試験日
推薦	令和6年10月10日(木)～令和6年10月24日(木)	令和6年11月11日(月)
一般	前期 令和6年11月18日(月)～令和6年12月2日(月)	令和6年12月17日(火)
	後期 令和7年1月8日(水)～令和7年1月22日(水)	令和7年2月6日(木)

(3) 実科・研究科

区分	願書受付期間	試験日
推薦	令和6年10月10日(木)～令和6年10月24日(木)	令和6年11月11日(月)
一般	前期 令和6年11月18日(月)～令和6年12月2日(月)	令和6年12月17日(火)
	後期 令和7年1月8日(水)～令和7年1月22日(水)	令和7年2月6日(木)

授業料等

区分	授業料(年額)	入学科	受験料
総合農学科	118,800円	5,650円	2,200円
実科・研究科	42,000円		

※上記のほか、教材、教科書、資格試験、現地研修の経費に加え、入寮者には寮費、食費等諸経費を納めていただきます。

募集人員

学 科	修業年限	募集人員
総合農学科	実践経営者コース	2年 10人
	農業経営コース	2年 40人
実 科		1年 50人
研究科		1年 50人

お問い合わせ先

TEL 026-278-5211 FAX 026-261-2121
nogyodai@pref.nagano.lg.jp
https://www.nodai-nagano.ac.jp
〒381-1211 長野市松代町大室3700



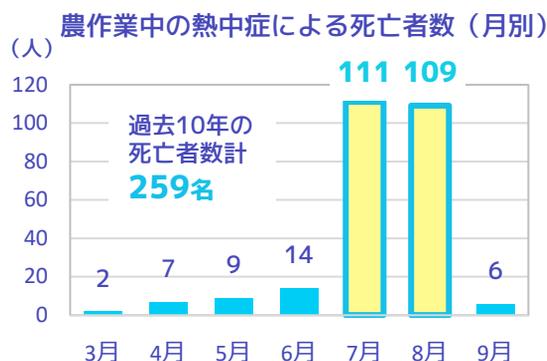
農作業中の熱中症を 予防しましょう!!

夏に向けて、農作業中に熱中症になる人が増えてきます。

熱中症は正しい知識を身につけることで、適切に予防することが可能です!!

* 農作業中の熱中症 *

- 毎年、約**30名**の方が農作業中の熱中症により**死亡**
- 死亡事故の約**85%**が**7～8月**に発生している一方で3～6月にも発生



* 予防のポイント *

暑さを避ける

高温時の作業は極力避け、日陰や風通しのよい場所で作業



こまめな休憩と水分補給

喉の渇きを感じる前に、こまめに水分・塩分を補給



単独作業は避ける

複数名で作業を行う、時間を決めて連絡をとり合う



熱中症対策アイテムの活用

帽子や吸湿速乾性の衣服の着用、空調服や送風機の活用



そのほか、日々の体調管理など熱中症に負けない体づくりをしておきましょう!



もっと
知りたい!!

熱中症対策

* 熱中症対策アイテム * *

身体を冷やす

暑い時間帯の作業等が避けられないときに活躍



ファン付きウェア、
ネッククーラー

1人作業の備え

やむを得ず1人作業をする際のリスクを回避したいときに活躍



ウェアラブル端末、
応急セット

環境改善

作業場を涼しくしたり、休憩の質を高めたいときに活躍



ミストファン

* 熱中症警戒アラートと MAFFアプリの連携 * *

熱中症警戒アラートとは?

熱中症の危険性が極めて高くなると予測された際に発表される注意喚起情報

STEP 1

STEP 2

STEP 3

STEP 4

MAFFアプリの入手



Android



iOS

地域の設定



マイページ
>プロフィール設定

PUSH通知ON



スマートフォン側の
通知設定も確認

通知が届く



登録した都道府県に
アラートが発生され
ると通知が届く

* 熱中症が疑われる場合には * *

01 作業を中断



(代表的な症状)

- 汗をかかない、体が熱い
- めまい、吐き気、頭痛
- 倦怠感、判断力低下

02 応急処置



- 涼しい環境へ避難
- 衣服をゆるめ体を冷やす
- 水分・塩分を補給

03 病院へ



応急処置をしても症状が改善しない場合は医療機関で診療を受けましょう!!